令和7年度

新城市民病院　第3回新病院建設基本構想市民ワークショップ

～　みんなで考えよう　あなたのまちの市民病院　～

令和7年9月13日（土）

1．第2回市民ワークショップの振り返り

- 令和7年7月26日（土）、第2回市民ワークショップにご参加いただきありがとうございました。

- 開催の目的は、市民病院の現状を知っていただき、「**市民が創り、支える病院**」を実現するために、ワークショップ参加者（皆様）より、新病院において、「**市民病院に期待する役割・機能は？**」、「**どのような施設、設備、サービスを望むか？**」の意見を出していただくことでした。

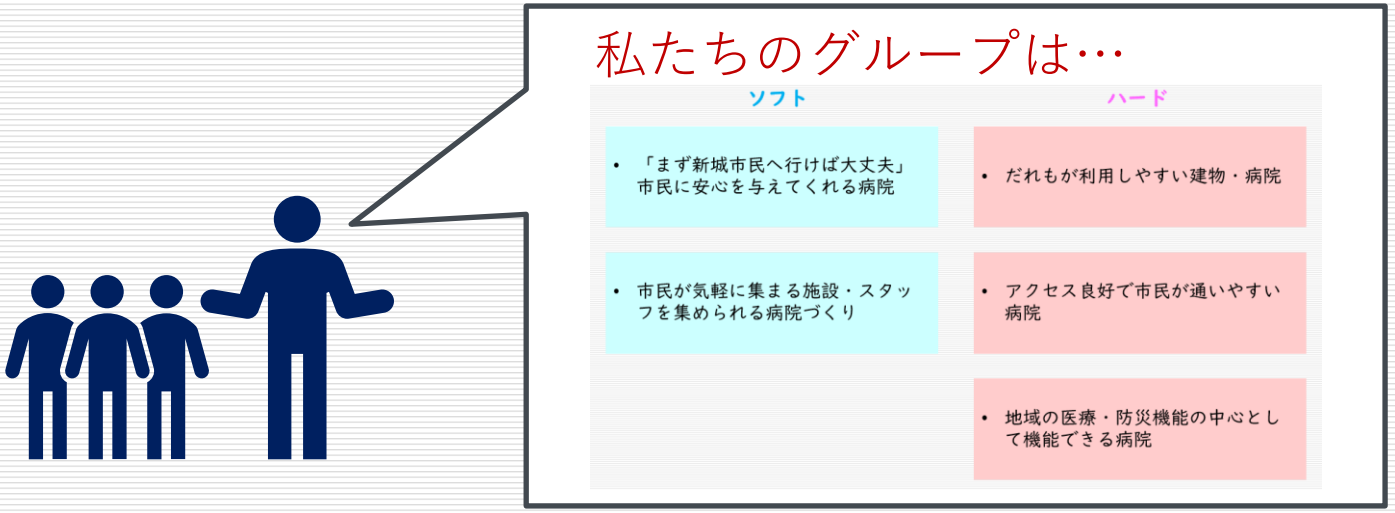
- 参加者の方々には、各自、新病院において、「市民病院に期待する役割・機能は？」、「どのような施設、設備、サービスを望むか？」等についての意見を、「付箋」にご記入いただきました。
  ※ソフト面（医療機能や患者サービス等）　：**青色**の付箋
  　ハード面（建物・設備・駐車場等）　：**ピンク**の付箋

2．第3回市民ワークショップの進め方

（1）グループ発表・投票

① 各グループで、発表者を選定いただきます。

② 各発表者には、第2回市民ワークショップでとりまとめた各グループのご意見について、**5分間**で発表いただきます。



2．第3回市民ワークショップの進め方

（1）グループ発表・投票

③ 参加者の皆様には、各グループでとりまとめたご意見全ての中から、特に重要と考える**2つの意見**に投票いただきます。
（ソフト・ハード分類なく投票）

- なお、投票の際は、別途掲示する用紙の投票欄に「**投票シール**（後ほど配布）」を貼っていただきます。
- 各グループで同じ内容のご意見は、投票欄をまとめており、同一意見として集計します。

【投票イメージ】

シールで投票

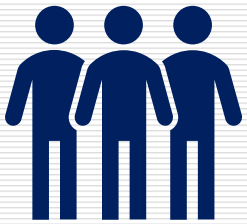
カテゴリ	グループ	分類	意見内容	投票欄
運営方針	1	ソフト	「まず新城市民へ行けば大丈夫」市民に安心を与えてくれる病院	
	1	ハード	地域の医療・防災機能の中心として機能できる病院	
	2	ソフト	地域住民を巻き込んだ病院運営「医療・交流・安心」	👍
	6	ソフト	患者に優しく親切で寄り添う新城市民病院の確立。	
	6	ハード	利用患者だけではなく、すべての住民に優しく、住民が集ってくる新しい新城市民病院になる。	
診療体制	4	ソフト	予防医療の充実	
	5	ソフト	全世代に対応した在宅医療を支える病院（医療ケア児や在宅で医療機器を利用する患者への災害時対応含む）	
	5	ソフト	医師を確保し、診療科の維持・拡充（小児科等）を目指す。	
	7	ソフト	人口減少・里帰り出産等に対応するためにも産科等の周産期機能が必要	
	8	ソフト	診療機能の充実（精神科、周産期、透析、健康増進等）	
人員確保	2	ソフト	医療従事者確保ができる魅力的な病院	👍
	3	ソフト	医師・看護師の確保に向けて、住居環境の確保や時差出勤・フレックス勤務など働きやすい環境をつくり、職員ひとりひとりの負担が軽減できる病院。そのためにも医療関係者が集合できるエリアやシステムを用いてコミュニケーションが図ることができ、その結果、医療関係者が集まる病院	
	7	ソフト	医師、看護師等の医療スタッフが働きたくなる、定着してくれる労働環境（制度）の整備	

2．第3回市民ワークショップの進め方

（1）グループ発表・投票

④　「投票数」の多い**3つのご意見**を、本ワークショップの重点施策とさせていただきます。

市民ワークショップの意見
①・・・
②・・・
③・・・



市民ワークショップ

※最終的に選定した3つの意見から外れた意見に関しても、皆様方の新病院整備に対する貴重な意見として参考にさせていただきます。

3．各グループでとりまとめたご意見

（1）グループ1

3．各グループでとりまとめたご意見

（1）グループ1

ソフト

- 「まず新城市民へ行けば大丈夫」市民に安心を与えてくれる病院
- 市民が気軽に集まる施設・スタッフを集められる病院づくり

ハード

- だれもが利用しやすい建物・病院
- アクセス良好で市民が通いやすい病院
- 地域の医療・防災機能の中心として機能できる病院

3．各グループでとりまとめたご意見

（2）グループ2

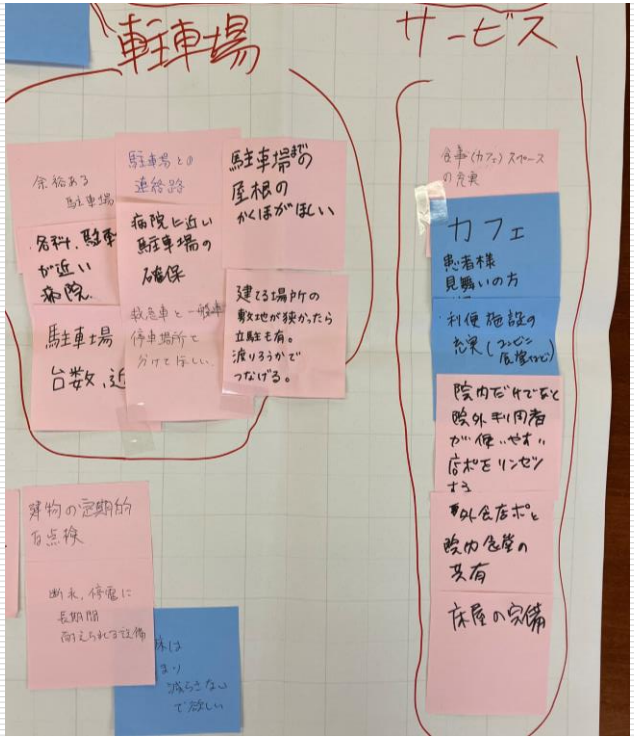
3．各グループでとりまとめたご意見

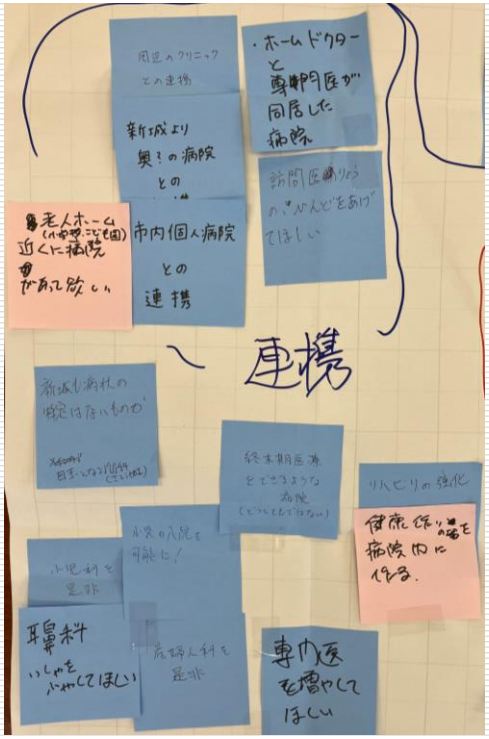
（2）グループ2

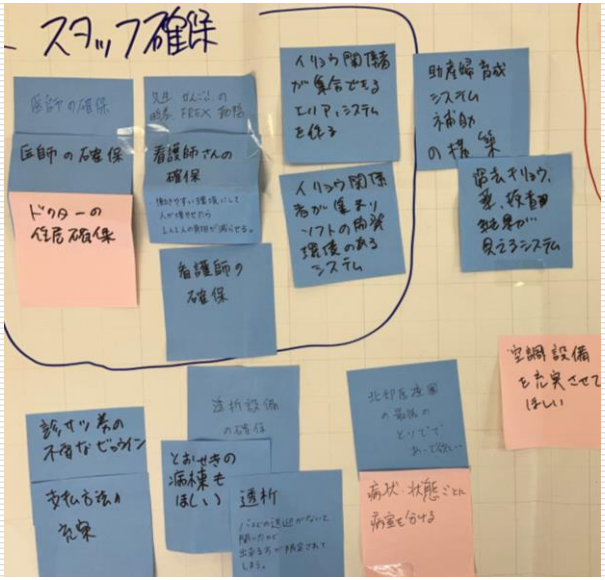
ソフト	ハード
• 医療従事者確保ができる魅力的な病院	• 療養環境のよいプライバシーが保たれる病室（全個室等）
• 長い待ち時間のない診療体制	• 大規模災害に対応できる施設整備（ヘリポートの設置等）
• 地域住民を巻き込んだ病院運営「医療・交流・安心」	• 広くて大きい止めやすい駐車場

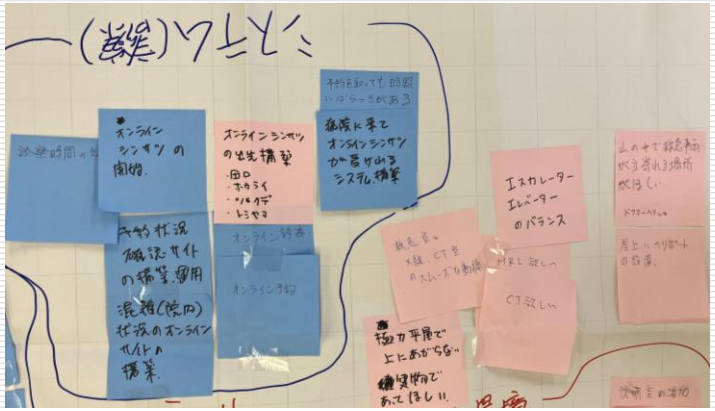
3．各グループでとりまとめたご意見

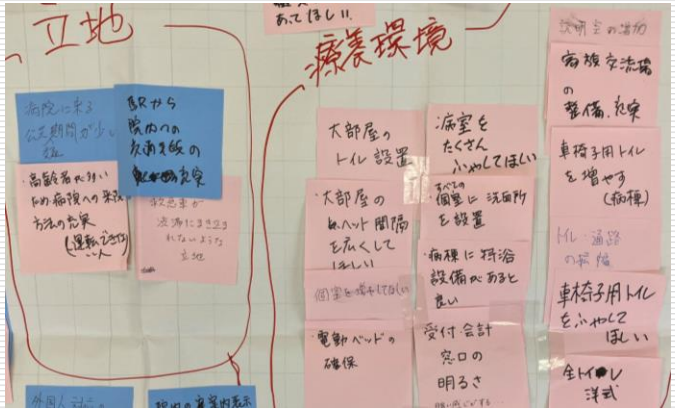
（3）グループ3











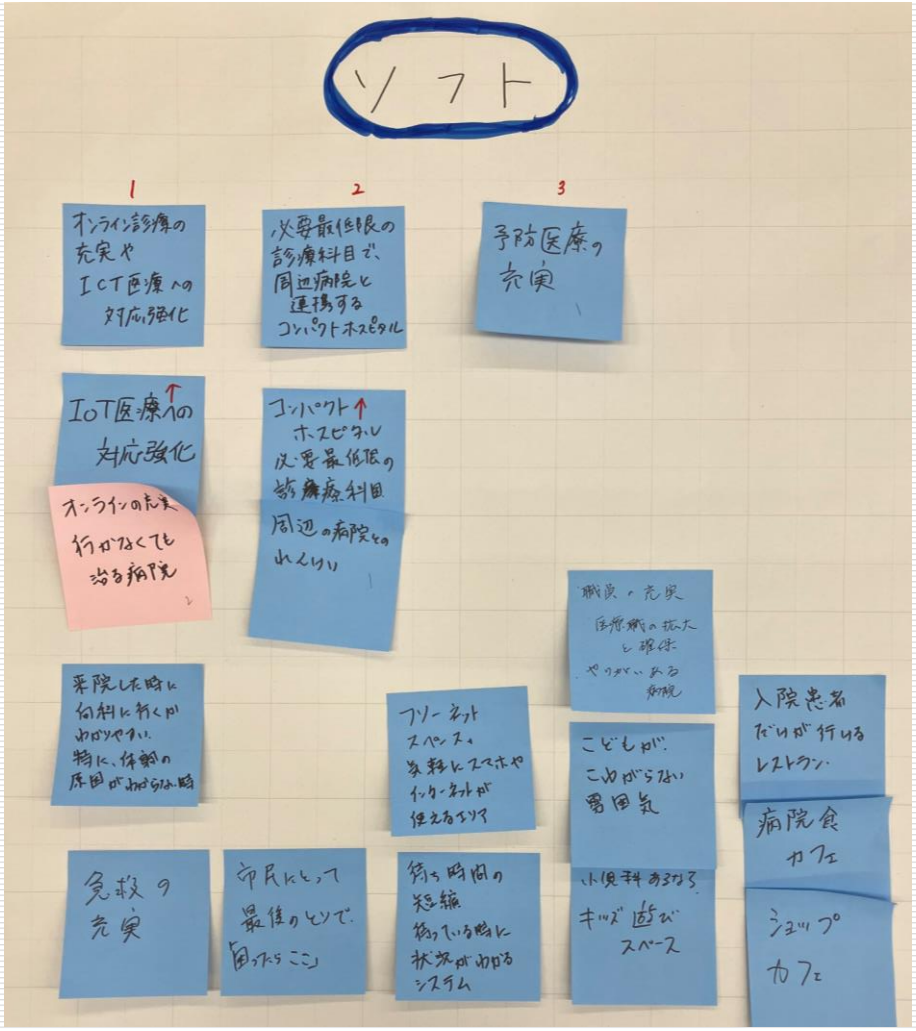
3．各グループでとりまとめたご意見

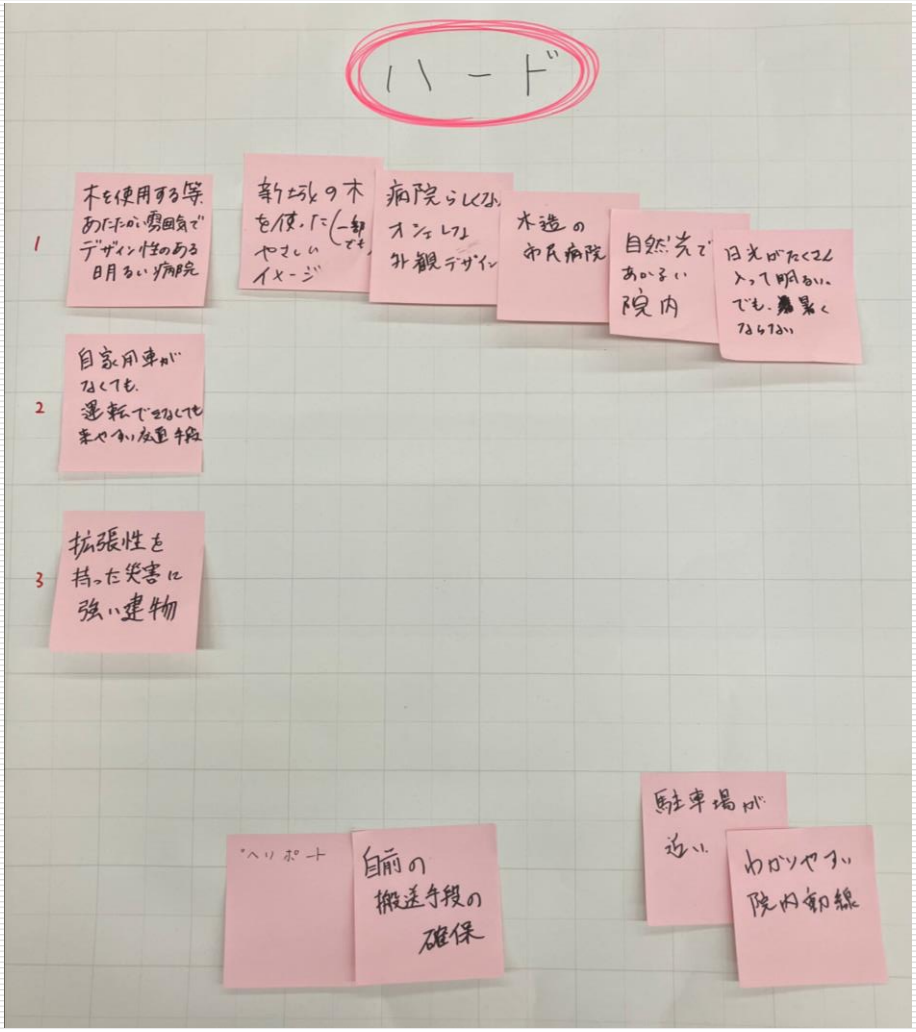
（3）グループ3

ソフト	ハード
• 医師・看護師の確保に向けて、住居環境の確保や時差出勤・フレックス勤務等働きやすい環境をつくり、職員ひとりひとりの負担が軽減できる病院。そのためにも医療関係者が集合できるエリアやシステムを用いてコミュニケーションを図ることができ、その結果、医療関係者が集まる病院。	• 患者やご家族、職員の方も利用でき、また、病院外から地域住民も利用できるような食事スペース・カフェ、床屋等のサービス設備が充実した病院。
• 市民病院と近隣の病院、診療所・クリニックとの連携だけでなく、小学校・こども園、老人ホームとも連携を行う病院。連携することによってホームドクターと専門医が同居した医療サービスが提供できる病院。	• 患者さんに高齢者が多いことから、自家用車での通院だけでなく、公共交通機関からのアクセスが行いやすい病院。自家用車で通院される方のために、十分な台数確保（立体駐車場も含む）や病院に直接入れる通路（雨の日でも濡れないルート等）が確保された病院。
• オンライン診療や予約状況の確認や混雑状況の確認ができるシステムが整備されている病院。	• 病院全体が明るく、トイレ環境が充実（全病室にトイレ配置、洋式のみ、車イスの方も利用できるトイレ等）した病院。また、病室も十分な広さを持ち、家族交流や説明を受けるスペースが充実した病院。

3．各グループでとりまとめたご意見

（4）グループ4





3．各グループでとりまとめたご意見

（4）グループ4

ソフト	ハード
• オンライン診療の充実やICT医療への対応強化	• 木を使用する等、あたたかい雰囲気でデザイン性のある明るい病院
• 必要最低限の診療科目で、周辺施設と連携するコンパクトホスピタル	• 自家用車がなくても（運転ができなくても）来やすい交通手段
• 予防医療の充実	• 拡張性を持った災害に強い建物

3．各グループでとりまとめたご意見

（5）グループ5

3．各グループでとりまとめたご意見

（5）グループ5

ソフト	ハード
• 全世代に対応した在宅医療を支える病院（医療ケア児や在宅で医療機器を利用する患者への災害時対応含む）	• 災害時に幅広い対応出来る病院作り（免震構造や設備の充実）
• 外来の利便性の向上（待ち時間対策、予約取得や変更のしやすさ、気軽に相談できる窓口の設置）	• （整備費用の抑制や財源確保を前提とし）エコや低エネルギー、フレキシブルな諸室整備等、低コスト意識を踏まえた新病院整備
• 医師を確保し、診療科の維持・拡充（小児科等）を目指す	• 市民にとって、通院しやすい場所に新病院を整備する

3．各グループでとりまとめたご意見

（6）グループ6

3．各グループでとりまとめたご意見

（6）グループ6

ソフト	ハード
• 救急診療機能を充実させ、受入れ患者を増やす。救急においても、通常の診療においても、大学病院や地域の医療機関との連携を充実させ、スムーズにする。	• 災害発生時に病院として機能するために、災害に強い施設整備、設備整備を行う。
• 患者に優しく親切で寄り添う新城市民病院の確立。	• 救急患者への対応（受入れ、他病院への搬送）のためにヘリポートを設置する。
• 診療の予約がスマホなどで簡単にできる、院内で待ち時間の解消、必要時に呼び出しがあるシステム導入。遠隔診療やオンラインでの診療や相談ができるシステム導入。	• 利用患者だけではなく、すべての住民に優しく、住民が集ってくる新しい新城市民病院になる。

3．各グループでとりまとめたご意見

（7）グループ7

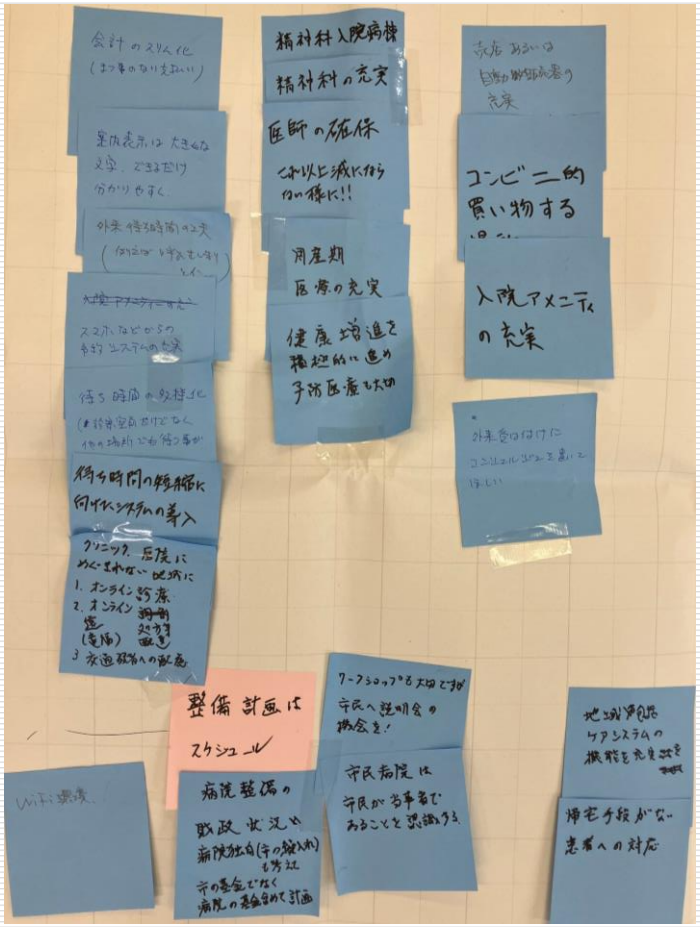
3．各グループでとりまとめたご意見

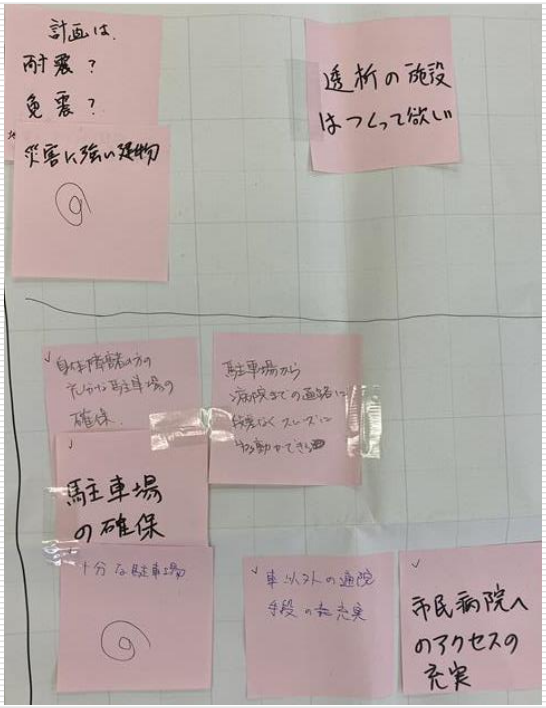
（7）グループ7

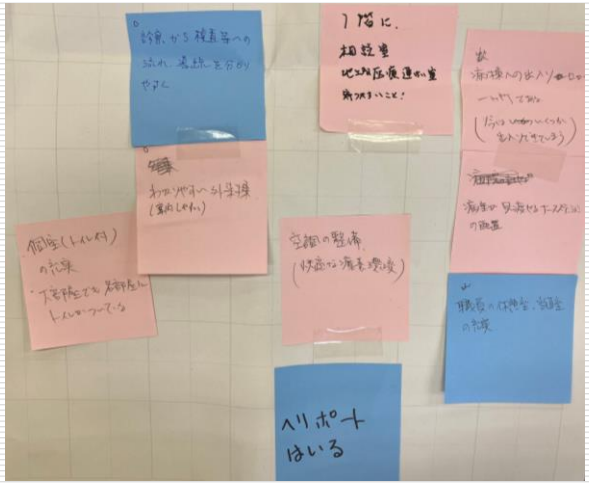
ソフト	ハード
• 人口減少・里帰り出産等に対応するためにも産科等の周産期機能が必要	• 病院へのアクセス向上に向けた、駐車場の整備や公共交通機関（バス・タクシーの運行時間の延伸等）の充実、市民サービス（交通弱者への対応）の向上
• 医師、看護師等の医療スタッフが働きたくなる、定着してくれる労働環境（制度）の整備	• 患者や患者家族等の病院利用者に対するアメニティ機能の充実（売店機能（取り扱い物品・営業時間）の拡張、カフェ機能、イートインスペースの確保）
• 現在の救急機能に加え、医療圏全体への救急機能の提供（ドクターカー等）による救命率の向上	• 病室への手洗い・トイレの設置や、自然光を取り入れた明るい療養環境、患者をケアしやすい病室の設計

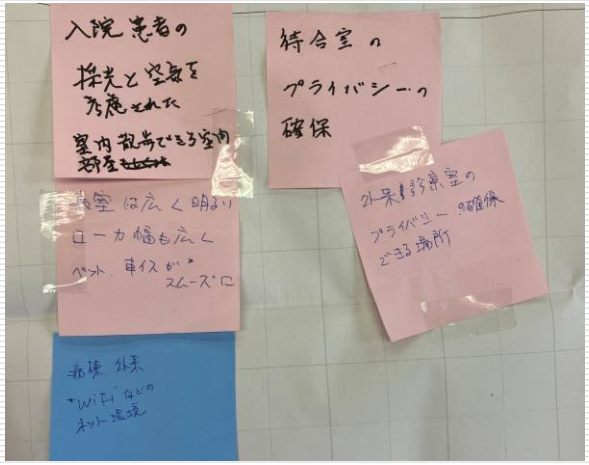
3．各グループでとりまとめたご意見

（8）グループ8









3．各グループでとりまとめたご意見

（8）グループ8

ソフト	ハード
• 医療情報システムの充実（予約システム、呼び出しシステム、オンライン診療等）	• 災害に強い建物（耐震・免震含む）
• 患者利便の充実（売店、自販機の充実、コンビニ等、入口にコンシェルジュ等）	• 病院にアクセスしやすく、十分な広さをもった駐車場の確保
• 診療機能の充実（精神科、周産期、透析、健康増進等）	• 療養環境の充実（プライバシーの確保、Wifi環境の充実、明るい病院）